

第83期 株主通信

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



Produce
The Future



株式会社 GSIクレオス

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、第83期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、ここに営業の概況と決算のご報告を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年6月

取締役社長 深瀬佳洋



第83期の業績

当期におけるわが国経済は、年度後半の政権交代から円高の是正や株価の回復が進むなど明るい兆しが見え始めたものの、全般的には、欧州債務危機問題の長期化や新興国の成長鈍化による世界景気の減速懸念により、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当期業績は、繊維関連取引が拡大しましたので、売上高は前期比8,957百万円、7.4%増収の130,686百万円となりましたが、利益率が低下したことから売上総利益は、前期比311百万円、2.4%増益の13,471百万円となりました。営業利益は、販売費及び一般管理費が増加しましたので前期比489百万円、25.1%減益の1,458

百万円となりました。経常利益は、前期比384百万円、22.9%減益の1,290百万円となり、当期純利益は、前期比210百万円、18.7%減益の916百万円となりました。

第83期業績

売上高	130,686百万円	前期比	7.4%
営業利益	1,458百万円	前期比	△ 25.1%
経常利益	1,290百万円	前期比	△ 22.9%
当期純利益	916百万円	前期比	△ 18.7%

次期の見通し

今後の経営環境につきましては、現政権の政策の下で景気回復感が広がりつつありますが、欧州債務危機問題や新興国の景気減速などの懸念は払拭されず、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

こうした状況下、当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大を重点施策として、強みの発揮できる事業分野へ優先的に経営資源を配分することで、収益基盤の強化を図るとともに、財務体質の改善を進めてまいります。

なお、ナノテクノロジー事業は、早期の収益化に向け、塗料、燃料電池、複合材料の3分野に絞りこみ、経営資源を投入いたします。

第84期業績予想

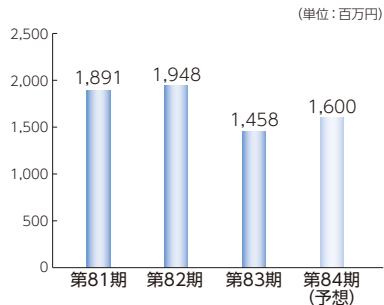
売上高	135,000百万円
営業利益	1,600百万円
経常利益	1,400百万円
当期純利益	1,000百万円

業績の推移(連結)

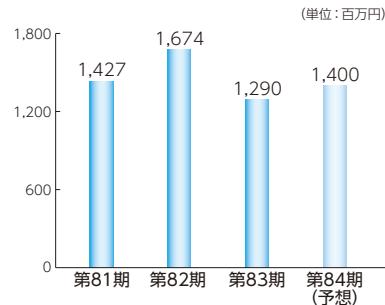
売上高



営業利益



経常利益



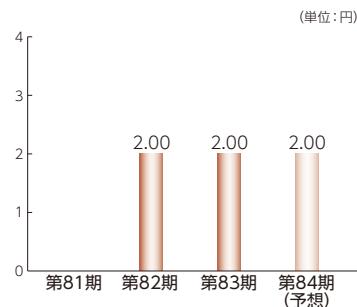
当期純利益



1株当たり当期純利益



配当金



セグメント別概況(連結)

繊維事業

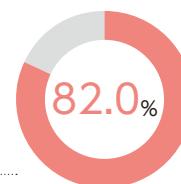
主要商品：

繊維原料、テキスタイル、
レッグ・インナー・
アウターウェア 他

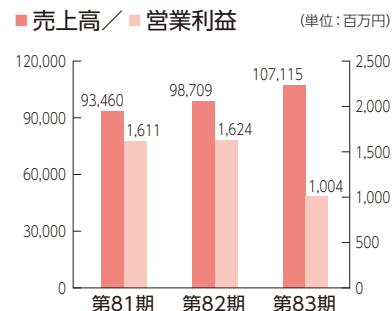


売上高	107,115百万円	
前期比		8.5%
営業利益	1,004百万円	
前期比		△ 38.2%

売上構成比



- 機能性の高いインナー用の原糸および生地取引は大幅に伸長しましたが、競争激化により利益幅が縮小しました。その他の合繊糸やインナー用生地も市況悪化の影響を受け低調に推移しました。また、インナーウェアは、企画提案型の婦人ファンデーションを除き苦戦しました。雑貨の小売展開は、店舗関連経費が先行しました。
- アウター用の生地輸出は、韓国や中国向けが減少しました。製品OEM取引は、レディースの一部取組先やアウトドア向けが増加しました。一方、婦人アパレル事業は、直営店の販売が伸びず苦戦しました。



工業製品事業

主要商品：

化学品、機械装置・資材、
ホビー・生活関連品 他

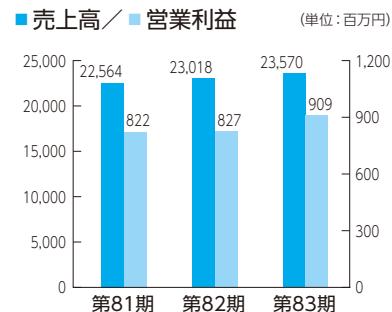


売上高	23,570百万円	
前期比		2.4%
営業利益	909百万円	
前期比		10.0%

売上構成比



- 半導体関連では、中国製ウエハーなどの部材が増加しましたが、装置は減少しました。フィルムは、前年の震災特需の反動から売上が減少したものの、塗料・樹脂の硬化用添加剤は堅調に推移しました。また、複合材関連で、大型成形機械の新規取り扱いを開始しました。
- ホビー関連商品は、プラモデル用塗料や塗装用器具などが堅調に推移しました。



上海市に地域本部管理性会社を設立

当社は、「海外事業の拡大」方針のもと「アジアで稼ぐ」をスローガンに、中国における体制の整備を進めております。本年3月には、その一環として、商業企業であるGSI上海社に増資した上で、同社を格上げ（改組）することで管理性会社を設立しました。また、それを機会に、社名を「郡産貿易（上海）有限公司（GSI上海社）」から「科立思管理（上海）有限公司（GSI中国社）」に変更しました。



GSI中国社

管理性会社の概要

企業名 科立思管理（上海）有限公司
（GSI中国社）

資本金 620万米ドル

新会社は、従来、商業企業として行っていた販売・輸出入業務を継続するとともに、同社を中国本社と位置付け、まずは、GSI北京社およびGSI深圳社の資金管理、与信・法務や人事・労務等の管理業務を支援することにより、中国事業におけるリスク管理機能の強化とガバナンスの充実を図ります。

鉄道車両用複合材パネルビジネスをアジア地域で拡大中

当社の現地法人であるGSIアメリカ社は、北米での車両用複合材パネルのトップメーカーであるMilwaukee Composites, Inc.（アメリカ）の製品販売をアジア地域に拡大しています。

同社のパネルは、特殊軽量芯材をフェノール樹脂とガラス繊維で周囲を覆った複合材パネルですが、軽量かつ長寿命であることに加え、火災発生時に高い安全性を発揮する（注）ため、車両床材等の用途として、主要各国の鉄道会社・車両メーカーで使用され始めています。GSIアメリカ社は、原材料の調達を担う一方で、本年1月に中国の大手車両メーカーへの納入に成功するなど、アジア地域における同パネルの拡販に努めています。

今後は、当社グループ内での連携をさらに強化し、中国のみならず、日本の車両メーカーへの販売も行なってまいります。



複合材パネルを使用する中国の鉄道車両

（注）アメリカおよびヨーロッパの各燃焼規格（NFPA 130等）に、判定基準を大幅に上回る結果で合格しています。これらの規格は、炎が広がるスピードや発煙量を数値化し、それらの数値や燃焼時に発生したガスに関する分析などを判定材料とするものです。



鉄道車両用複合材パネル

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
流動資産	48,283	46,163
固定資産	11,623	10,931
有形固定資産	5,446	5,402
無形固定資産	553	321
投資その他の資産	5,624	5,207
資産合計	59,906	57,094
流動負債	42,727	40,481
固定負債	4,178	4,779
負債合計	46,906	45,261
株主資本	13,903	13,259
その他の包括利益累計額	△952	△1,475
少数株主持分	49	48
純資産合計	13,000	11,832
負債純資産合計	59,906	57,094

連結貸借対照表(要旨)のポイント

資産

現金及び預金の減少などがありましたが、売上債権や投資有価証券の増加により、前期末比で2,812百万円の増加

負債

借入金の減少などがありましたが、仕入債務の増加などにより、前期末比で1,644百万円の増加

純資産

当期純利益による株主資本およびその他の包括利益累計額の増加により、前期末比で1,167百万円の増加

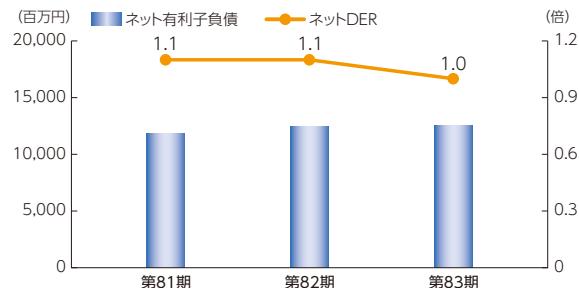
純資産(百万円)／総資産(百万円)／自己資本比率(%)



自己資本当期純利益率(%)／総資産経常利益率(%)



ネット有利子負債(百万円)／ネットDER(倍)

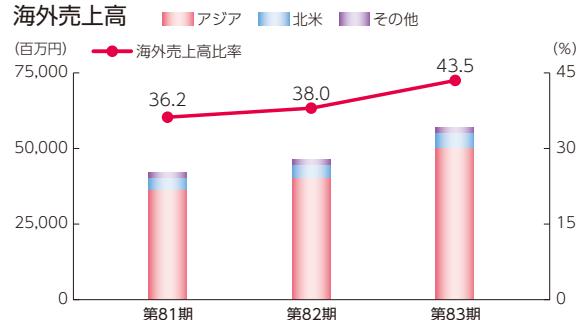


連結損益計算書(要旨)

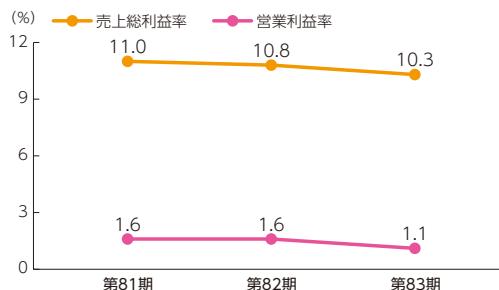
(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
売上高	130,686	121,728
売上原価	117,214	108,568
売上総利益	13,471	13,159
販売費及び一般管理費	12,012	11,211
営業利益	1,458	1,948
営業外収益	405	211
営業外費用	572	484
経常利益	1,290	1,674
特別利益	25	3
特別損失	98	181
税金等調整前当期純利益	1,217	1,496
法人税等合計	300	368
少数株主利益	0	0
当期純利益	916	1,126

海外売上高



売上総利益率(%) / 営業利益率(%)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	711	112
投資活動による キャッシュ・フロー	△514	△710
財務活動による キャッシュ・フロー	△802	△386
現金及び現金同等物の 期末残高	7,970	8,435

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益などにより、711百万円の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

貸付による支出などにより、514百万円の減少

財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済などにより、802百万円の減少

会社概要

会社の概要 (平成25年3月31日現在)

会社名	株式会社GSIクレオス		
本社	東京都千代田区九段南二丁目3番1号		
設立	1931年10月31日		
資本金	71億86百万円		
従業員数	569名(連結)		
拠点	国内 8ヶ所	海外	14ヶ所
連結子会社	国内 7社	海外	5社
ホームページ	http://www.gsi.co.jp/		

株式の状況 (平成25年3月31日現在)

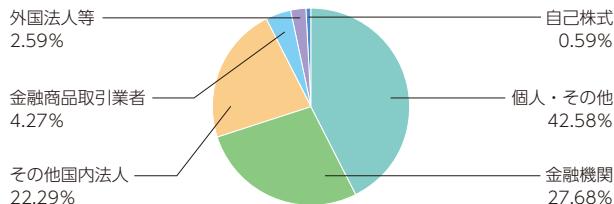
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	64,649,715株 (自己株式379,465株を含む)
株主数	6,723名

大株主(上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
グンゼ株式会社	9,321	14.50
株式会社みずほ銀行	3,182	4.95
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,172	4.94
日本生命保険相互会社	2,586	4.02
東レ株式会社	1,982	3.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,545	2.40
日本証券金融株式会社	1,280	1.99
日本興亜損害保険株式会社	1,119	1.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	722	1.12
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー 505103	640	1.00

(注) 持株比率については、自己株式(379,465株)を控除して算出し、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株主構成(所有者別の割合)



役員 (平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	深瀬 佳洋	取締役	荒木 靖司
代表取締役専務	中島 浩二	取締役	富田 正憲
常務取締役	宮崎 満	取締役	新美 一夫
常務取締役	松下 康彦	常勤監査役	浅野 幹雄
常務取締役	吉永 直明	監査役	石川 均
取締役	田中 正道	社外監査役	岩田 紀治
取締役	中山 正輝	社外監査役	金井 博芳

株主メモ

証券コード	8101
上場証券取引所	東京、大阪
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載アドレス http://www.gsi.co.jp/ir/notice/ (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

